



議会だより

主な内容

発刊にあたって p 2
 臨時議会の概要 p 3
 定例会の概要 p 4
 陳情・要望 p 5
 委員会の構成 p 6 / p 7

平成16年度暫定予算 p 8
 平成16年 2月末決算 p 9 / p10
 平成16年 3月末決算 p11
 傍聴席から・編集後記 p12



(霞翠小学校にて)

岐阜市誕生

議会だより 発刊にあたって



吉岐市長職務執行者

山口 銀矢

地方分権の時代を迎え、これまでの行政システムが大きな変革期に直面しております。4町ではこのことを真摯に受けとめ、県内の町村に先駆け、「住んで良かったと実感できる」まちづくりを目指して、去る3月1日吉岐市としてスタートしたところでございます。

今日までご尽力いただきました議会及び関係者の皆様に対し深く敬意と感謝を申し上げますとともに、賢明な選択を賜りました住民の皆様へ心から御礼を申し上げます。今後の市制発展のためには、市民の声を求めることはもちろん、市民と情報を共有することが必要不可欠であります。

この度創刊されます「議会だより」は、市議会の動きを市民の皆様にお知らせすることによって、議会に対する関心を深めていただく効果的な媒体になるものと思います。

市議会の前向きな取り組みに感謝致しますとともに、「議会だより」が住民皆様の議会とのパイプの役目を果たし、市民の声が議会に反映されますようお祈りいたしまして、創刊にあたってのご挨拶といたします。



吉岐市議会議長

瀬戸口 和幸

吉岐市議会は、新しい「吉岐市」が誕生し62名の議員となりましたが、議員相互の融和を図り、研鑽を重ねて、地域住民のニーズに耳を傾け、豊かな明るい住みよいまちづくりに邁進する所存でございます。どうぞ今後とも市政・議会活動に市民皆様のご協力とご支援を賜りますようお願い致します。

さて、議員として住民の負託に応えるべき、議会活動全般にわたり、市民の皆様にお知らせするため、『議会だより』の創刊号を発刊することになりました。議会と市民の皆さんを結ぶ広報紙として、読者にとって親しまれる広報紙に努めてまいりたいと思います。どうか一読頂きご批判、ご意見を賜れば幸いに存じます。

最後に発刊にあたってご苦勞なされた編集委員の皆さん方に感謝申し上げますとともに、市民皆様のご健勝を祈念し、発刊のご挨拶といたします。

臨時議会の概要



吉岐市議会銘板除幕式

旧四町議長



吉岐市が誕生して記念すべき初市議会となる、平成十六年第一回吉岐市議会臨時議会は、三月八日・九日の二日間の会期で開かれました。

第一日目に議長、副議長の選挙が行われ、議長に瀬戸口和幸氏、副議長に深見忠生氏を選出しました。次に議員発議により吉岐市議会会議規則等四件が制定されました。

その後各常任委員会の委員を選出し、議会運営委員会及び議会広報特別委員の選任等を行いました。

二日目は吉岐市役所の位置（旧郡民センター）を定める条例制定のほか二百三十四件の専決処分の承認、平成十五年度吉岐市一般会計及び特別会計の暫定予算の専決処分など二十三件の議案が審議され、全て原案の通り承認可決しました。



吉岐市議会副議長
深見 忠生

吉岐市議会初議会におきまして、不肖私、議員各位のご推挙により、副議長の栄職に就かせて頂き、光栄に存じ、感謝致しております。幸いに人格見識ともに卓越された瀬戸口議長のもと、議会が公正にしかも円滑に運営されますよう誠心誠意努力したいと存じます。どうかよろしくご指導ご鞭撻賜りますようお願いし、就任の挨拶とします。



吉岐市議会議長
瀬戸口 和幸

吉岐市発足後の初議会におきまして、議員皆様のご推挙により議長に就任致しました。身に余る光栄でございます。浅学非才の私でございますが、市政の推進と議会の円滑な運営のため、全力を傾注する所存でございます。議員さんを始め、執行部そして市民皆さん関係各位の一層のご支援ご協力を賜りますようお願いし、議長就任の挨拶とします。

●議長・副議長就任挨拶●



定例会の概要

ぎふ市議会初の定例会開催

ぎふ市議会として最初となる、平成十六年第一回定例会は、三月十二日開催され、一般会計暫定予算三十六億七千二百三十二万円と、各特別会計暫定予算十五件、その他規約の一部変更等二件並びに陳情四件を審議、原案の通り可決決定し、三月十九日に閉会しました。

今回の予算は、新市長誕生までの四月から六月までの三ヶ月間の暫定予算で、福祉事務所の開始や家畜診療所・消防署に関する予算、災害復旧事業、建設予算では旧四町の継続事業など一般会計予算総額、歳入が五十四億五百四十九万七千円・歳出が三十六億七千二百三十二万円となりました。また、特別会計では新規事業の精神障害者地域支援センターと精神障害者福祉ホームB型事業をはじめ、病院会計事業、老人ホーム事業などの十五件が審議されました。その他、長崎県市町村事務組合規約の一部を变

更する規約について、長崎県土地改良事業団体連合会への加入についての二件、陳情四件を審議し、二件、陳情四件を審議し、全件原案通り可決しました。最終日には、公立病院建設調査特別委員会の設置が議員より提案され、全員一致で承認、十二名の委員が選任されました。尚、今回より一般会計予算については、予算特別委員会を設置し、委員

会に付託して審議を行っています。

委員長 赤木 英機
副委員長 長山 茂彌
委員 小金丸益明
中村出征雄
中田 恭一
眞弓 倉夫
長岡 末大
酒井 昇
末永 浩
横山 重光
吉田 寛
永田 實
山川 峯男
牧永 護
品川 洋毅
深見 忠生
の十七名でした。

行政報告

● 市長職務執行者 山口 銀矢

議会を始めとして、選挙、監査、農業委員会、教育委員会とそれぞれ事務所が分散をしているために、市民の皆様には何かとご不便をかけております。新たに設置をした福祉事務所、精神障害者の二つの施設についても順調に滑り出ております。今後とも皆様のご指導ご協力を

行政機関の中で農業委員会も会長が決定し、監査委員会を除いてすべての行政機関の構成が完了致しました。今後、本庁と支所とが

【陳情・要望等の審査経過報告】

第一号 要望	第四号 陳情	第二号 陳情	第二号 陳情	第一号 陳情	受理番号	件名		提出者	陳情の趣旨	常任委員会 審査付託等	結果
<p>武道館建設のお願いについて</p>	<p>義務教育費国庫負担制度の堅持に関する陳情について</p>	<p>義務教育費国庫負担制度の根幹堅持に関する緊急要請について</p>	<p>地方財政計画・地方交付税等の見直しの意見書採択を求める陳情について</p>	<p>年金改革の中止を求める陳情について</p>				<p>長崎県社会保険推進協議会 会長 哲翁 昭邦</p>	<p>年金改革にあたっては、保険料の引き上げ及び給付の削減を行わない等、五事項の意見書の決議を陳情。</p>	<p>厚生 常任委員会</p>	<p>採択</p>
<p>会長 山内 五郎</p>	<p>長崎県教職員組合 専任支部長 林 昭</p>	<p>長崎県町村教育長会 会長 山下 禎三郎</p>	<p>長崎県自治体 労働組合連合会 執行委員長 淵上 剛幸</p>						<p>現行の義務教育費国庫負担制度を堅持するよう、政府関係機関に対し、地方自治法第九十九条に基づき意見書の提出を求める。</p>	<p>総務文教 常任委員会</p>	<p>採択</p>
<p>文書配布扱い</p>		<p>五項目の要請</p>	<p>義務教育費国庫負担制度の根幹を堅持する等、</p>	<p>地方交付税等削減に反対し、二〇〇四年度地方財政計画を見直すよう、国に対して意見書採択の陳情。</p>						<p>総務文教 常任委員会</p>	<p>採択</p>
<p>-</p>	<p>採択</p>	<p>採択</p>	<p>採択</p>	<p>採択</p>				<p>委員会</p>		<p>採択</p>	<p>結果</p>
<p>-</p>	<p>採択</p>	<p>採択</p>	<p>採択</p>	<p>採択</p>				<p>本会議</p>		<p>採択</p>	<p>結果</p>

委員会の構成

所管

総務部・消防本部
教育委員会・会計課
選挙管理委員会・監査委員

委員名

委員長	副委員長
長岡 末大	眞弓 倉夫
中村 瞳	安川 芳一
平畑 光	久間 初子
榊原 伸	中田 恭一
鷗瀬 和博	橋本 早苗
立石 和生	平尾 典子
深見 義輝	町田 光浩
菊田 光孝	

総務文教委員会



所管

市民生活部
公立病院
かたばる病院

委員名

委員長	副委員長
品川 洋毅	吉田 寛
原田 武士	吉富 忠臣
倉元 強弘	大浦 利貞
江川 漣	山内 道夫
小園 寛昭	東谷 伸
中村出征雄	豊坂 敏文
市山 和幸	今西 菊乃
町田 正一	小金丸益明

厚生委員会



委員長
副委員長
委員
建設調査特別委員会
吉岐公立病院

眞大長倉吉永牧品赤深近原
弓浦岡元富田永川木見藤田
倉利末強忠 洋英忠団武
夫貞大弘臣實護毅機生一士

委員長
副委員長
委員
議会広報特別委員会

町坂今橋中馬久榊
田本西本田場間原
光拓菊早恭忠
浩史乃苗一裕進伸

委員長
副委員長
委員
議会運営委員会

長浦永牧品深森立
岡瀬田永川見山石
末繁 洋忠是一
大博實護毅生蔵郎

産業経済委員会



所管

産業経済部
農業委員会

委員名

委員長	護	副委員長	山川 峯男
牧永	英機	川谷	力雄
赤木	茂彌	佐野	寛和
長山	隆	浦瀬	繁博
川添	洪昭	久間	進
大久保	省司	山下	正業
立川	邦博	長島	清和
富田	拓史		
坂本			

建設委員会



所管

建設部

委員名

委員長	實	副委員長	酒井 昇
永田	忠生	立石	一郎
深見	忠幸	近藤	団一
入江	是蔵	横山	重光
森山	浩	西村	勝人
未永	忠裕	坂口健好志	
馬場	澄夫	田原	輝男
山下	徹也		
今西			

委員会開催日程

総務文教常任委員会

四月一日 / 四月十二日 /

四月十三日 / 四月二十一日 /

五月十二日

厚生常任委員会

四月二十六日 / 四月二十七日

産業経済常任委員会

四月八日

建設常任委員会

三月三十日

広報特別委員会

三月二十四日 / 四月六日 /

四月十五日 / 四月二十三日

志岐公立病院

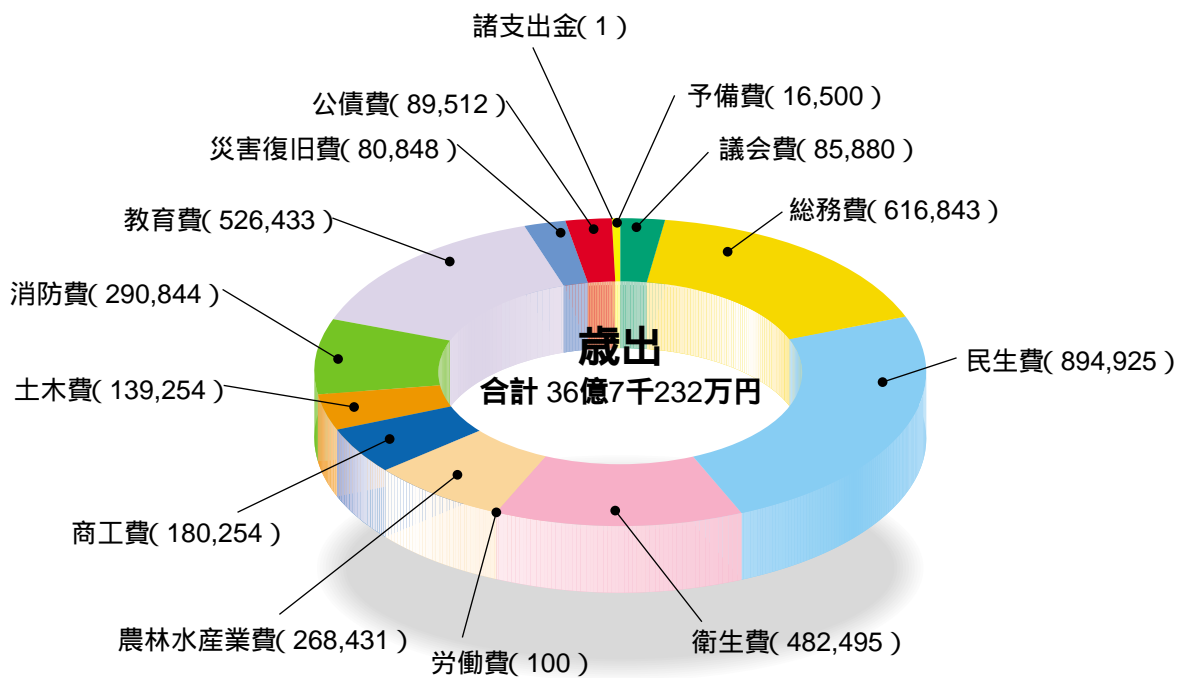
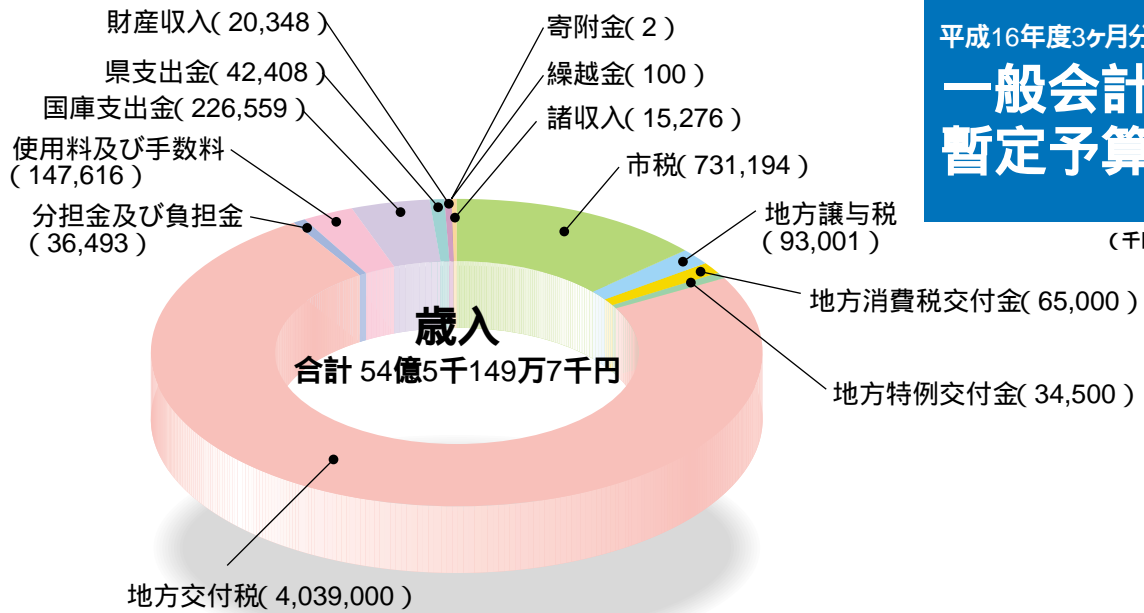
建設調査特別委員会

三月三十一日 / 四月二十八日



平成16年度3ヶ月分
一般会計
暫定予算

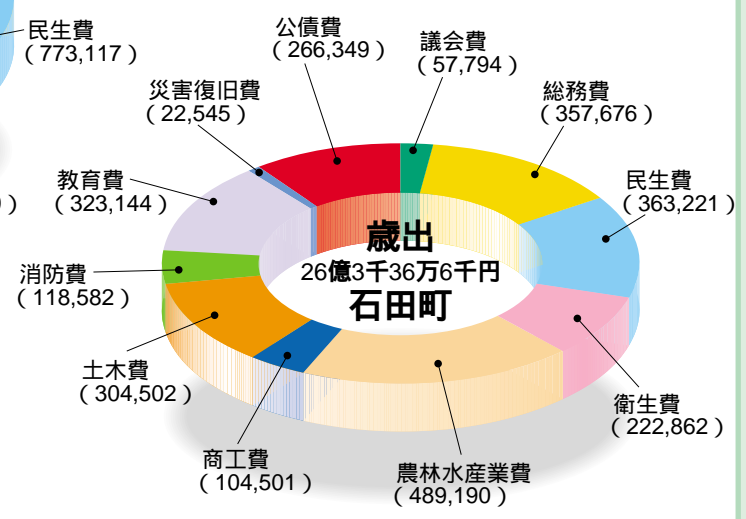
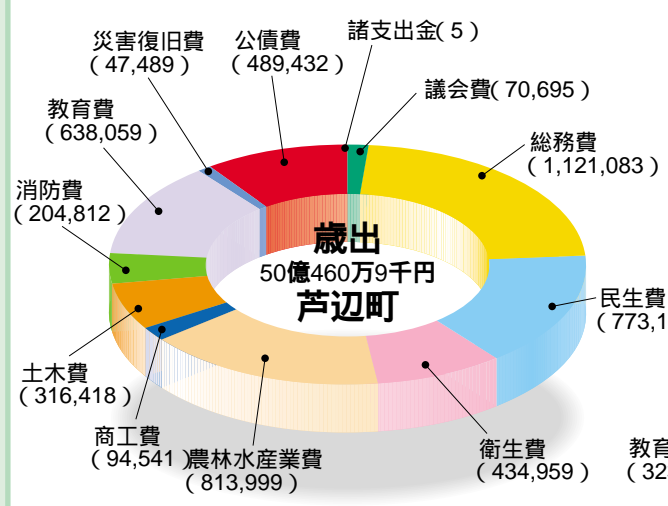
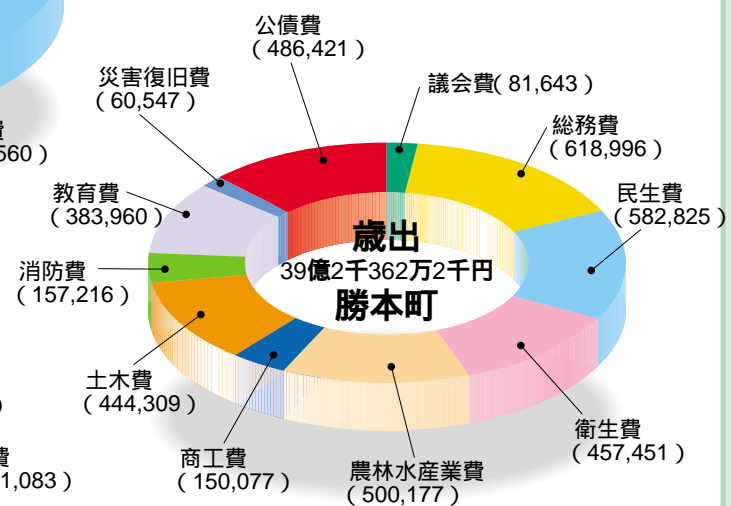
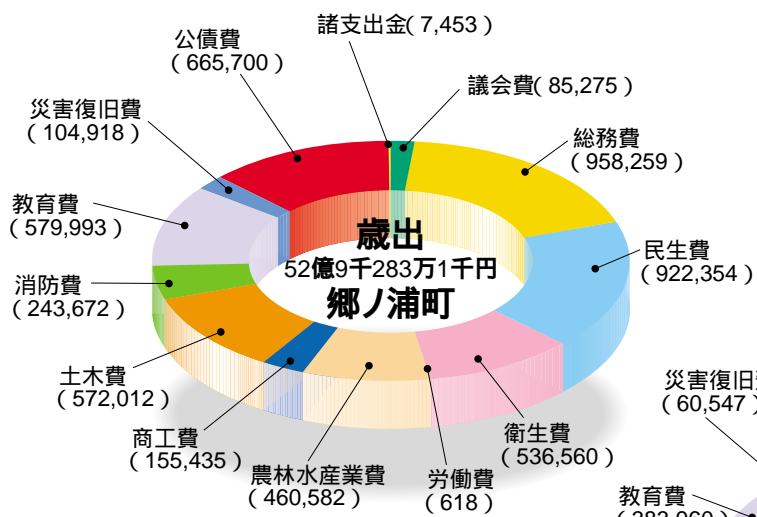
(千円)



国民健康保険事業	950,593千円
老人保健	1,166,853千円
介護保険事業	550,525千円
簡易水道事業	91,706千円
下水道事業	15,568千円
漁業集落排水整備事業	7,937千円
老人ホーム事業	60,541千円
特別養護老人ホーム事業	111,873千円

精神障害者地域生活支援センター事業	6,834千円
精神障害者福祉ホームB型事業	7,410千円
三島航路事業	38,078千円
農業機械銀行	14,398千円
芦辺港ターミナルビル事業	3,127千円
病院事業	1,042,613千円
水道事業	30,517千円

旧四町一般会計
歳出決算概要
(平成16年2月末)
(千円)



一般会計歳出総額
168億5千142万8千円

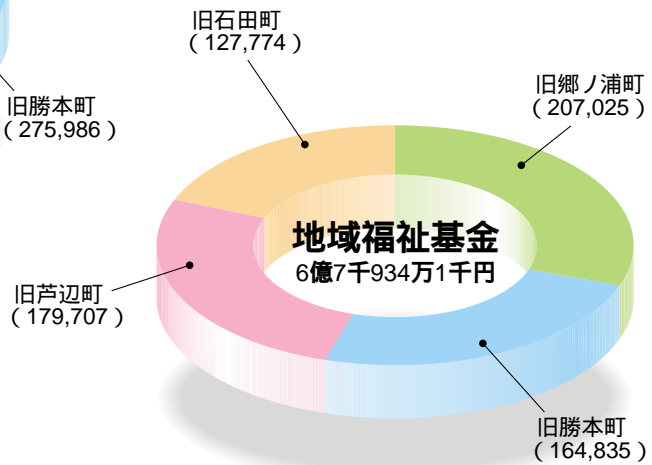
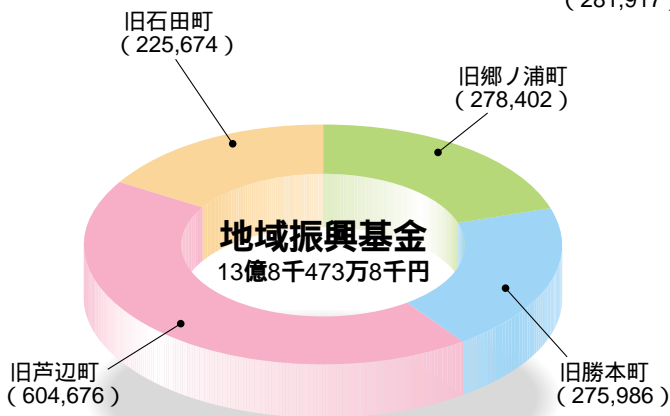
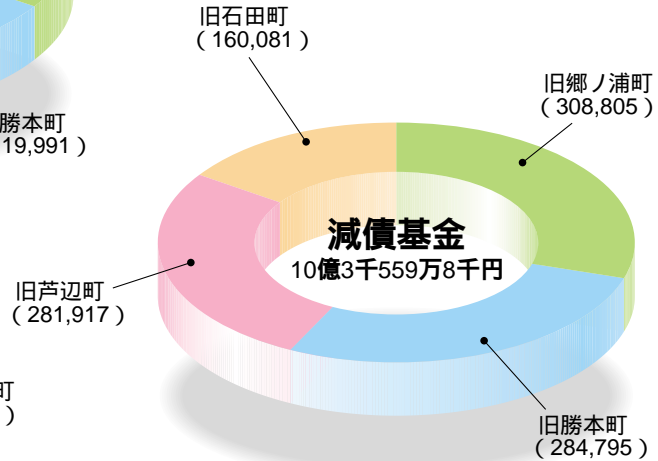
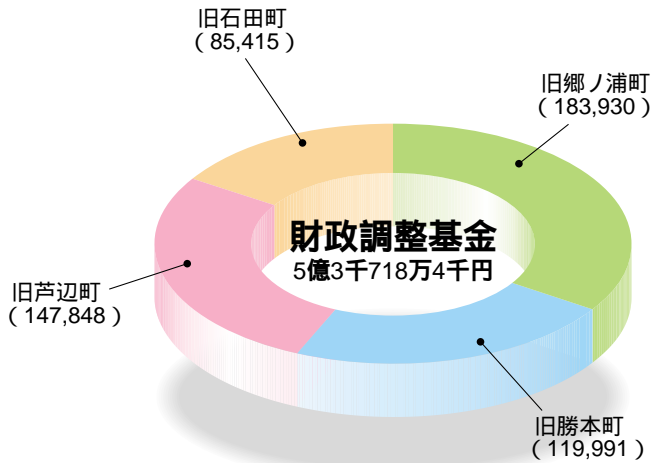
国民健康保険事業	3,316,976千円
老人保健	3,638,123千円
介護保険事業	1,847,489千円
簡易水道事業	1,012,584千円
下水道事業	261,161千円
漁業集落排水事業	130,076千円

三島航路事業	95,399千円
農業機械銀行	86,365千円
芦辺港ターミナルビル事業	8,091千円
宅地供給	30千円
老人ホーム事業	612,253千円
特別養護老人ホーム事業	644,891千円

旧四町基金 現在高

(平成16年2月末)

(千円)



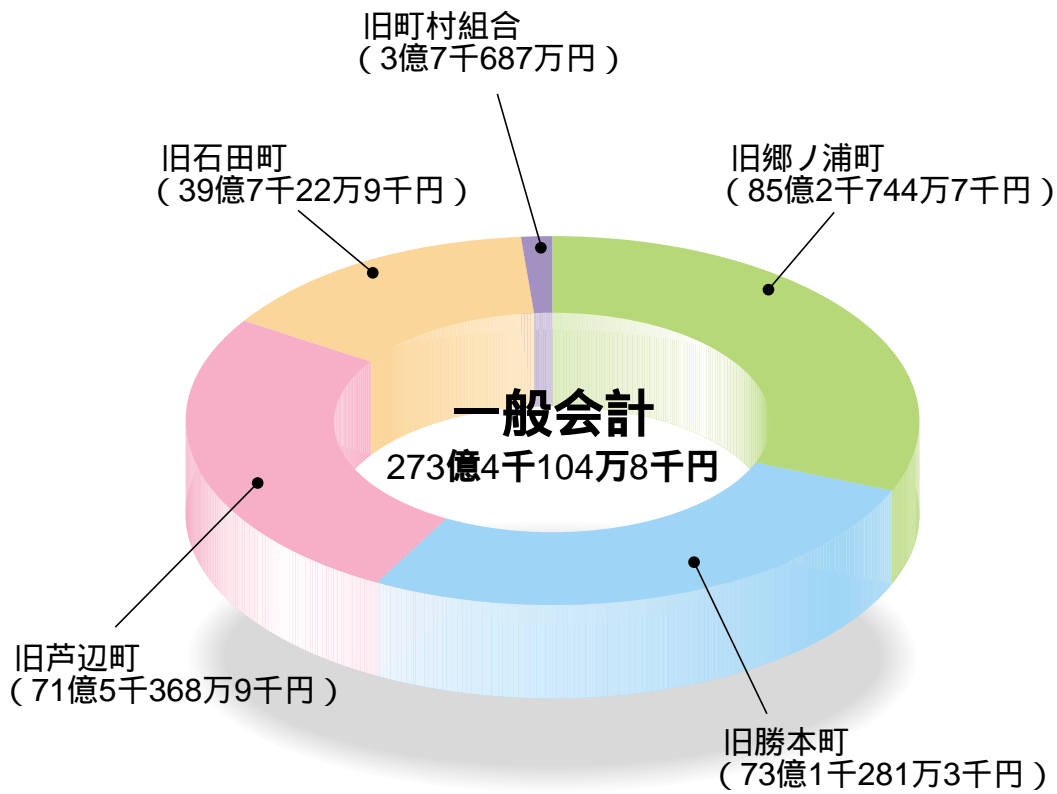
中山間ふるさと活性化基金	40,774千円
沿岸漁業振興対策基金	10,498千円
栽培漁業振興基金	84,165千円
原の辻遺跡保存整備基金	10,565千円
家畜導入事業資金供給事業基金	4,081千円
特定農山村地域活性化基金	9,583千円
松永記念館維持管理基金	22,062千円
国保(財政調整基金)	646,033千円
国保(診療施設勘定)	49,216千円
簡易水道(財政調整基金)	16,818千円
介護保険(介護給付費準備基金)	62,642千円

教育振興基金(小学)	21,000千円
教育振興基金(中学)	7,979千円
ふるさと市町村圏基金	1,000,000千円
土地開発基金	903,199千円
災害資金貸付基金	20,000千円
奨学資金運用基金	8,214千円
肥育素牛導入資金貸付基金	1,000千円
老人ホーム(老人福祉施設整備基金)	5,916千円
老人ホーム(財政調整基金)	10,610千円
特養ホーム(老人福祉施設整備基金)	115,553千円
特養ホーム(財政調整基金)	226,349千円

旧四町地方債 現在高

(平成16年3月末見込)

(千円)



診療施設勘定 19,844千円

簡易水道事業 4,538,893千円

下水道事業 979,054千円

漁業集落排水施設 399,236千円

老人ホーム事業 193,422千円

特別養護老人ホーム事業 31,367千円

三島航路事業 106,300千円

病院事業 1,105,200千円

水道事業 171,380千円

傍聴席から

勝本町
中村 節

3月9日、初議会を午前中傍聴した。議場への重いドアを開け階段を上っていくと、62名の議員さん方の座席がパッと目の前に飛び込んできた。予想はしていたが、議場の前半分全部が議席であることを目の前にすると、とにかくその多さに圧倒された。

執行部の方々も舞台上に着席され、これからの方々によって新苓岐市が進められていくのだと思うと感慨を深めずにはいられなかった。

前日に正・副議長も選出され各常任委員会の構成も終わっていた。そして苓岐市に移行したための条例改正235件の承認の報告があった。冊子にして10cmばかりの分厚さになるであろうか。一市民としてこれらの条例にも目を通しておきたいと思った。

議員さん方には今後、島内をくまなく歩かれ、多くの島民との交流を通して活発な議会活動に取り組んでいただきたいものである。当日の傍聴者は6名であった。議会の傍聴は決して楽しいものではないが、市民として特に議場には足を運んでみたらどうだろうか。そのことがこれからの議会活動をさかんにするにもつながるし、さらに今後の我々の生活の向上にも役に立つのではと考えながら帰途についた。

芦辺町
篠崎 義孝

開会前、議員バッジをつけた議員さん達が颯爽として議場に入場する姿を見て、いよいよ苓岐市の初船出に頼もしい場面をみて力強く感じた。

3月9日初議会午前10時、さしにも広い議場は市長職務執行者、市職員と対峙した議員席で埋めつくされた。

定刻通り開会宣言、新しい議長席に着席した瀬戸口議長のてきぱきとした議事運営でスムーズに議事進行がなされた。

ほとんど執行機関の提案、審議ですべて原案通り承認可決された。(承認案件第1号～第23号)

議会閉会中の継続調査の件。(原案通り決定)

苓岐市は町村合併により幾多の課題が山積する中で、執行機関と議決機関がそれぞれの機能を充分発揮され、市の発展に寄与されることを期待する次第である。

編集後記

苓岐市もいよいよ、平成十六年三月一日スタートしました。

市議会も二日に連絡会、八日、九日に臨時議会、十二日から十九日に市議会初の三月定例議会が開催されました。議員数六十二名というところで、当初は戸惑いや心配もありましたが無事に船出することができました。議会も今後は、今までと違って常任委員会の果たす役割がより重要となってきました。

現在、各常任委員会も、委員会活動が活発に行われています。我々議会広報特別委員会も、市民の皆様が愛され、親しまれる議会たよりにするため頑張ります。今後とも多くの皆様のご意見や、ご要望をお聞かせ頂ければと思います。よろしくお願ひします。

広報委員会



議会だより

創刊号

平成16年5月1日

発行 / 苓岐市議会

編集 / 議会広報特別委員会

〒811 5521

長崎県苓岐市勝本町西戸触182 5

TEL 0920 42 1111

FAX 0920 42 0096



この議会だよりは、古紙配合率100%再生紙、環境に優しい大豆油インキを使用しています。